

健康

ガイド



= 保健センターからのお知らせ =

健康推進課(佐屋保健センター)

☎(28)5833 ■ <https://www.city.aisai.lg.jp/>

ご不明な点は、お問い合わせください。

<高齢者肺炎球菌の予防接種>

対象	接種場所	接種回数	接種料金	備考
①満65歳の方 ②満60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器に障害のある方(身体障害者手帳1級程度)またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害のある方 ※過去に接種したことがある方は対象外	愛西市、津島市、弥富市、あま市、海部郡の指定医療機関	1回 過去に接種したことがある方は、対象となりません。	2,000円	①誕生日の翌月にご案内を郵送します。 ②事前に手続きが必要です。健康推進課へお問い合わせください。 ※事前に医療機関への予約が必要です。

<大人の風しんワクチン接種費用の助成について>

市内在住で、妊娠を予定または希望している女性(妊娠中の方を除く)で、風しんの抗体価が低いと判定された方に対し、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンの接種費用の一部を助成します。

なお、風しんの抗体検査は、愛知県が費用助成を行っています。(ただし、対象者に条件があります。)抗体検査については津島保健所☎(26)4137にお問い合わせください。

<風しん抗体検査および予防接種クーポンについて>

風しん抗体保有率の低い昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象とした抗体検査および予防接種が令和7年2月28日まで公費で受けることができます。対象の方には既にクーポン券を発送しています。愛西市に転入された方やクーポン券を紛失された方は健康推進課へお問い合わせください。

<HPV感染症ワクチン(子宮頸がんワクチン)について>

平成9年度生まれから平成19年度生まれの方で、小学校6年から高校1年の頃に接種の機会を逃した方は、令和7年3月31日まで公費で接種を受けることができます。詳細は市ホームページをご覧ください。ワクチンの効果あるいはリスクについてご理解のうえ、接種をご判断くださいますようお願いいたします。

<特別の理由による任意予防接種費用の助成について>

骨髄移植手術などにより、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断された方に対して、再接種にかかる費用の助成をしています。再接種の前に健康推進課で手続きが必要です。

※愛知県広域予防接種について

子どもおよび大人の予防接種について、疾病や里帰りなどの事情がある場合、海部・津島地区以外の医療機関(愛知県内の広域予防接種協力医療機関)で接種することができます。事前に手続きが必要ですので、あいち電子申請・届出システムから手続きをしてください。

あいち電子申請・届出システムはこちらから↓



歯の健康講座

ブラキシズム

ブラキシズムとは、睡眠時に行っている歯ぎしりや、日中・夜間にかかわらず無意識のうちに歯を食いしばっている咬みしめなどの総称のことです。グライディング、クレンチング、タッピングの3種類に大きく分けられます。グライディングとは、上下の歯を擦り合わせ、ギリギリと音が聞こえるのが特徴です。クレンチングとは、上下の歯を強く咬みしめる習慣で音をたてることのないため、他人に指摘を受けることがなく、症状が出るまで気づきにくいです。タッピングは上下の歯を細かく小刻みに噛み合わせる習慣でカチカチと音がします。

通常歯には食事や強く噛んだ時に一過性に力が加わるだけですが、ブラキシズムの場合は大きな力が持続的に加わるため、歯やそれを支える歯肉や骨などに強い影響が生じます。歯に関しては歯がすり減ったり、それに伴い歯がしみたり、力のかかり方によってはかぶせ物が外れることもあります。ひどい時は歯が割れてしまうこともあります。また歯

周病にかかっている歯にブラキシズムの力が加わると急速に歯肉や骨の状態を悪化させてしまいます。

ブラキシズムの原因としてかみ合わせの異常や日常生活でのストレスなどの精神的なものが考えられていますが、そのメカニズムはまだはっきりと解明されていません。夜寝ているときにギリギリ音を立てる人は周囲から指摘されるかもしれませんが、無意識下で行われるため当事者自身はほとんどの場合気づかないようです。セルフチェックの項目として①歯がすり減ったり、欠けたことがある②歯の付け根がくぼんでいる③頬の内側や舌の周辺に歯の跡がついている④起床時に顎や口の周囲にこぼれがある⑤歯肉に硬く隆起しているところがある。これらの項目に思い当たることがあればブラキシズムの可能性が高いと考えられます。

軽いブラキシズムであれば大部分の人でも認められ、必ずしも異常ではありません。大きなストレスを感じた場合などにブラキシズムが増加することがあり、強いブラキシズムが習慣化されると歯や歯肉、顎関節などのトラブルになることがあります。もしご自身で気になることがあれば、歯科医院を受診し、大切な歯をブラキシズムから守りましょう。

(海部歯科医師会)